トーン・ファクトリー VIOLA 1 6L6WGCシングルアンプキット ¥79,800

●主な仕様
使用真空管：5881/6L6WGC
適合スピーカー：8Ω(接続変えで4Ω可)
定格出力：6W(8Ω, THD 5%)
入力感度：770mV
入力インピーダンス：470kΩ
周波数特性：30Hz〜70kHz(8Ω/1V, ±3dB)
NFB：約9dB
寸法・重量：106W×150H×395Dmm・約7.5kg

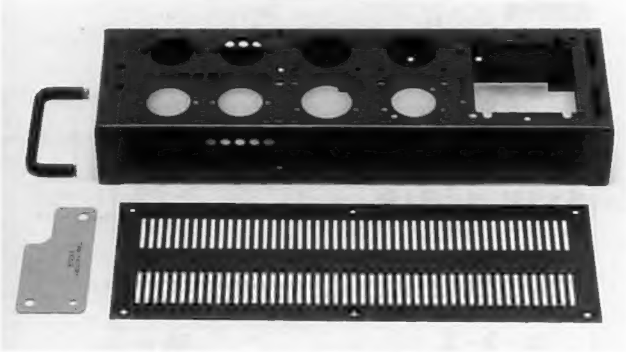
●問い合わせ・資料請求先
東一電機(株)
〒214-0008 川崎市多摩区菅北浦2-18-8
TEL 044-944-3444

オイルコンデンサー，フィルムコンデンサーでおなじみの東一電機から，真空管パワーアンプキットが発表された．東一電機は創業50年になるコンデンサーの老舗メーカーだが，我々アマチュアにあまり縁がなかったのは，鉄道信号や医療機器，通信機など，主に産業用の特殊なコンデンサーを手掛けてきたからである．'98年に「TONE FACTORY」ブランドでオーディオ分野に本格参入し，最近では，オーディオ用フィルムコンデンサー以外にも，トランス類，アンプキットなど守備範囲を広げつつある．

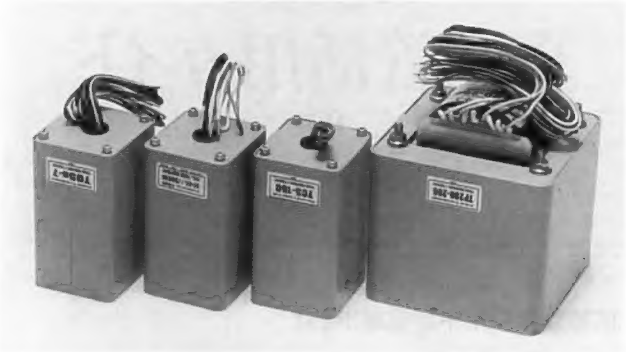
本機の特徴は，何といっても小形化を考えた細長い(106W×55H×235Dmm)シャシーデザインにある．トランス類もすべて計算された高さとサイズでシャシーに収まっているのが見事だ．

回路は，初段が12AX7によるSRPP回路，出力段が5881/6L6WGCシングルというオーソドックスな2段構成で，音質と特性改善のためNFBを約9dBかけている．SRPPは周波数特性に優れ，出力インピーダンスが低い特徴がある．出力管はウルトラリニア接続とし，自己バイアスで60mAのカソード電流を流している．6L6族の出力管以外にも

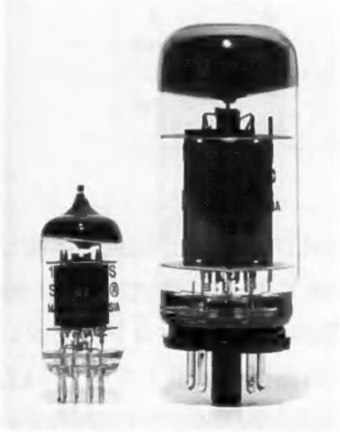
キットに含まれる全部品．シャシー，トランス類ともに東一電機のオリジナル製品．増幅部は完成調整済み基板なので，製作では内部の結線が主な作業となる



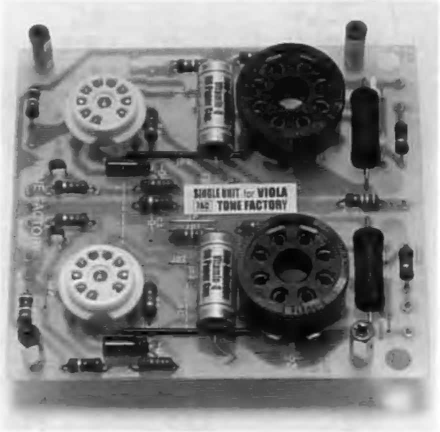
アルミ製の加工済みシャシー．アズキ色(RB)とブルー(BL)の2色があり，購入時に指定できる．キットに付属のトランスの他，タンゴのM-757(OPT)，MX-185(PT)，SC-5-150(CH)も搭載可能



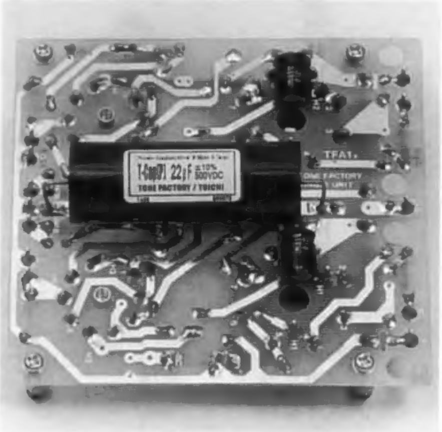
左から，出力トランス，47μF×2/500Vフィルム・ブロックコン，チョークコイル，電源トランス．すべてアイボリー塗装のリード線引き出し型で，単売もされている



真空管はソヴテック球が付属．電圧増幅管はロングプレート型12AX7LPS，出力管は5881/6L6WGC



ガラスエポキシ基板に実装された増幅部．同社のオイルコンと巻線抵抗の他，フィリップスの抵抗が多用されている



基板裏には，デカップリング用のフィルムコンと出力管のカソードバイパスコンが見える

KT88，KT66，6550A，6G-B8，さらにソケットの1番ピンと8番ピンが接続されているので，6CA7(EL34)も無調整で差し替え可能だ．B電源部は半導体による両波整流だが，B巻線の電流容量200mAという十分な余裕を持たせ，安定した定位感再現に役立たせている．

部品面では，12AX7，5881/6L6WGCとも，ロシア製のソヴテック球を使用．電源トランス，チョークコイル，出力トランスには，同社オリジナルの「アイボリー H88」シリーズが使われており，これらは単売もされている．当然のことだが，カップリングコンデンサー，デカップリングコンデンサー，平滑コンデンサーは自社製であり，デカップリングと平滑コンデンサーにフィルムコンデンサーを投入している点は，特筆に値する．音質もさることながら経年変化の面で有利であり，コンデンサーメーカーならではの配慮である．その他，フィリップスの抵抗，七星の電源コネクターやサトーパーツの外装部品など，信頼性ある部品が使われている．

増幅部は完成調整済みの完成プリント基板となっているので，初心者にも製作が可能だろう．マニュアルには詳細な部品表と回路図，出力管別歪率特性，さらにカラー写真による12工程の詳細な製作ガイドが付いている．困った場合の「相談窓口」も開設しているので，心配はいらない．

機構部品には，国産を含め，国内で入手可能なものを主に採用している

出力管を変えて楽しむのも一興だが，大型のメイン装置にはない，愛らしいミニアンプの用途はいろいろ考えられるから，ライフスタイルに合わせて活用してはいかがだろう．　(柳沢正史)